

「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」

答申説明会 意見・アンケート結果（豊岡会場）

■ 開催日 2021 年 7 月 1 日（木）19:00～20:20

■ 会 場 豊岡市民プラザ ほっとステージ

■ 出席者 参加者 47 名
 教育委員会事務局 9 名

■ 質疑・意見交換（要旨）

意見・質問	回 答
審議会からの付帯意見に「通学への配慮」とある。昨年の説明会の中で、今でも北中と五荘小の通学が危なく、さらに五荘小、奈佐小が統合して、非常に通学が危険になるので配慮してくださいと発言があったかと思うがどうなったのか。	統合して現在は、奈佐地区からスクールバスが出ており、五荘小学校前のバス停の引き込みまで入ってもらい、子どもたちが道路を横断しなくても済むようにという配慮は行っている。
豊岡小が、北中と南中に分かれることがないよう、ぜひ検討いただきたい。	豊岡小の分散進学については、今後も協議、検討させていただきたい。
説明資料に計画実施の流れの一例とあり、検討委員会を立ち上げるとあった。日高小が統合するとした場合に、例えば、日高小学校区の者が静修小や八代小の委員会などに入っていくということはあるのか。	検討委員会（〇〇小を考える会）は、基本的には地域内という想定です。ただその場で、学校の状況が聞きたいというような声があれば、そのような調整もいるかと考える。 統合準備委員会は、仮に日高小と〇〇小であれば、その2つの学校、あるいは、3校統合であれば、3校のPTAや未就学の保護者などの関係者の方でいろいろな意見を聞きながら、統合後の学校運営、学校行事、PTA行事等について話し合い、協議をすることになる。
例えば、子どもが生まれて、どこかに家族で住もうと考える時に、やはり、学校の近くが住む場所として選択の中に入ってくると思う。 豊岡地域では、中筋小学校が統合となったときに、中筋地区の人口減少というものの方がより一層進んでしまうのではないかと心配する。その影響についてはどのように考えているのか。	今、学校統合で地域から要望が出ているところでは、逆にその学校に通わないといけないうえ、たくさんの子供がいる学校のある地域に移り住んでしまっ人口減少が進んでいるという意見もある。 また、地域での意見交換会でも、通学方法がしっかりしていれば、少し離れていても大きな学校に行くことができるので、地域に住み続けられるのではない

	か、だから、統合はむしろして欲しいといった保護者の意見もある。 学校がなくなったら地域が寂れるというよりも、むしろ逆に小規模すぎる学校があるために地域が寂れるのではないかという意見をいただいている。
今回の答申で、複式学級であるとか、大きい規模で教育した方が良くとなっているが、教育現場で教えている先生方の意見は、どういったものがあるのか。 校長先生は、審議会の委員にも入っているので意見を聞けたと思うが、実際に教育現場で子どもと向き合っている教員の方々はどう思っているのか、教育的な観点からどのようなあり方が良く思っているのか。今回の答申に関して教員からアンケートをとったりして意見聴取されたのか。	以前に小規模校の校長先生と意見交換をした。その場では、答申の概要版の小規模校のメリット、デメリットと概ね同じような意見をいただいた。それ以外では、複式学級の授業では事前の準備や学習がかなり大変であることや、経験がないとなかなか難しいこと、2学年分の授業を同時に進めなければいけないのでかなりのスキルがいること、また、人数が少なく子どもたちの意見がなかなか出ず、一人二人の意見で終わってしまうので、先生が意見を出す側に回るといような調整をして、少しでもたくさんの意見に触れられるようにされていることなど、やはり人数が少なすぎると課題が多いという意見をいただいている。 一方、クラス数が多いと先生の配置も多くなり、相談し合える先生がいるというメリットがある。 小規模校すぎると先生側から見てもいろいろと課題が出てくると聞いている。
実際に教員の方々から意見を聞いているのではないということか。	アンケートや、実際に集まってもらい意見交換をしたことはない。ただ、小規模校 50 人以下の学校の校長先生が現場を見ていて、職員の声もよく聞いているので、その声を持ってきていただいて、一昨年、話し合いをした。 例えば、複式学級は、1 年生と 2 年生はあわせて 8 人で編成されるが、こちらは算数の計算をして、あちらは国語をすることもあり、少しにぎやかに音読が始まると、低学年のためとても気になる。そのことを、両方で進めていかなくてもならない。高学年になると、発達に課題がある子が、とても大きいボリュームの

	中で集中することがなかなか難しいという声が学校からも出ている。 それから先生にとっては、2つの学年の授業研究をし、片方の学年に関わっている時は、もう一方の学年のことがどうだろうといつも気になっている。 さらに、ICT教育があり、英語が教科になり、様々な教育課題がある中、小規模校の先生は、自分たちの学校だけで研修ができない、出張して他の学校の研修に行くことが忙しくてできないという問題も抱えている。 アンケートはとっていないが、校長先生を通じてそのような声が上がってきた。 小規模校の良さは、もちろんあるが、それを認識したうえで、どうあるべきか、優先順位はどうか、ということを審議会で審議していただいた。
説明資料に計画実施の流れとあって、最終的に統合の合意・承諾とあり、あとは準備委員会でいろいろなことが相談されると思う。確認だが、今後の進め方に2021年7月の答申説明会から2022年4月計画スタートとあり、統合を前提としたスケジュールだと思うが、その条件として、地域住民、あるいは保護者との対話等で合意形成が完全にされたうえでのスケジュールで間違いないか。	2021年12月に計画策定、2022年4月に計画のスタートを予定している。ここまでに地域の方々からすべて同意を得ることは難しいと思っている。地域の方の意見を聞きながら、まずは答申を尊重しながら計画として作り上げていく。計画ができた後、一方的に進めていくのではなく、順次、校区别説明会の中で、地域の方々と話し合いをしていくという形で考えている。合意をいただくのは、計画ができて、こう進めますという方針が出てからということになる。 合意については、あくまで地域の方と話し合いをして、歩調を合わせながら進めていく必要があると考えている。
豊岡小の6年生が南中、北中に進学している件は、以前に校区審議会があり、その当時6～7回ほどの会議がもたれたが、結論が出ないまま解散されたと聞いている。それほど難しい問題であるが、地域からの声はでているのだから、もっと教育委員会で積極的に動いてもらうことが大事ではないか。	分散進学の課題は、認識している。ご指摘のように以前に校区審議会があった。今回の適正規模・適正配置審議会では、まず複式学級のある校区をどうするのかを優先的に考えている。 分散進学の件は、PTAの方とも意見をすり合わせながら進めていくことになるかと思うが、今のところPTAの中ではその声は上がっていないと聞いている。地域では声も上がっていると聞いて

	ているので、準備をしながら、今後、計画的にしていく必要があると思う。
昨年の意見交換会から中筋小が統合の対象となって驚いている。 小学校なので地域活動と密接に関係しているところがあるが、例えば、スポーツクラブ 21 などでもあるし、小学校が避難所になっていることもあるので、審議会でも付帯意見として出ているが、そのあたりの考え方を聞きたい。例えば、教育委員会と避難所であれば防災課など、役所内で横のつながりを持って進めるのか。	実際に統合した奈佐小や港西小では、その利活用については別の部署でどういった使い方があるのか考えている。地域の方々が体育館でスポーツ活動やグラウンドではグランドゴルフをされたりなど、いろいろな活動をされているので、その意見をしっかり聞いて、例えば民間の方が買ったり、借りたりと提案があったときに、地域からの要望を取り入れてもらえるように利活用を考えている。防災、避難所になっている部分も連携を図りながら進めているので、今後の統廃合の学校についてもその視点で進めたい。
今年の 12 月に計画を策定するというスケジュールであるが、策定後の計画の内容は、決定事項で今後変更がないという考えか。	今後、説明会でいただいた意見も踏まえ計画の内容を検討する。答申を尊重したうえで、どのように進めていくかや、具体的なスケジュール、あるいは、統合後の学校の位置ということも含めて今後、計画として組み立てていく必要があるので、まだ具体的ではないということでご理解いただきたい。
奈佐小が統合したので廃校になっているが、今まで学校でふるさと教育をしていた。教育委員会としてもふるさと教育を大事にしていると思うが、廃校になった地域の子どもたちに、その地域のふるさとをどう教育していくのかということは、地域の課題でもあるが、教育委員会としては、どのようにしていくつもりなのか。	ふるさと教育については、例えば、奈佐小と五荘小が統合しても、大きな範囲で奈佐地区を含めてひとつの地域という認識の中で取り組んでいきたいと考えている。その際、地域の方々の協力や、地域の中に出ていくという部分で、今後も協力いただきながら進めていきたい。
適正規模の考え方の中で、1 クラスの人数について 20 人程度と考えているとあった。これは審議会の意見なのか、それとも教育委員会の考え方なのか。将来にこの考え方が変わるのかどうかも含めて尋ねたい。	1 クラス 20 人程度は、例えば複数のグループに分かれての発表や、その時に 4 人ないしは 5 人の班が複数できて、グループ同士での相談ができる、あるいは、20 人程度であれば今までどおり先生が目も行き届きやすいということで、他の自治体でもそのような結論を出しているところがある。 また、世界的に見ても少人数学級が良いということもあり、20 人程度が平均であるので、審議会でも 20 人という数字

	を出した。あくまで程度であるので下回ったらすぐに統合の協議をするものではない。
中筋小の学年別児童数の見込みでは、2027 年度は子どもの出生数から人数を掌握していると思うが、2030 年や 2035 年度などは、たぶん、簡易推計か何かかと思うが、何をもってこの数字が出てきたのか。	中筋小の 2030 年、2035 年の見込みは、各区の地域別、男女別、年齢別の人口の推移のデータから推計の手法に基づいてだしている。あくまで推計値である。
港小の子どものアンケートとしてたくさん書いてある。ここに掲載されているものは喜ばしいことばかりだが、正直なところ、もっと不安なことなどの意見もあったのではないかな。あるいは、遠距離通学によって交通事故を起こしたり、何かいじめにあったり、そのようなことはなかったのかどうか。はっきりと、正しく教えてほしい。	アンケートの中で不安な意見についても若干触れられていた。例えば、通学がバスになって大変になったという意見もあった。中にはバスに乗れて楽しいという意見もある。その点については、安全面を十分に確保したうえで対応しているので、少しずつ慣れればと思う。 また、いじめや不登校などの課題については、今のところ生じていないと聞いている。今後も定期的にアンケートを取っていきながら子どもたちの状態把握、見守りをしていきたい。
港の場合に心配するのは、防災の問題、とりわけ津波など、我々が生きている間はないかもしれないが、東北の問題も考えると、防災の問題は教育が必要と思う。その点の考え方をどうか。	防災面では旧港西小が津波の避難所になっているので、その機能も残しながら、できれば民間事業者の利活用ができないか現在、検討を進めている。
スケジュールでは、2022 年 1 月から統合に向けた校區別説明会とある。今回の地域別説明会についてもコロナ禍で人数制限をしているが、お子さんのいるお母さん方は大きな会場に出てこれないと思うので、それぞれ統合される小学校の P T A の中でこのような説明会はされているのか。小学校の当事者の方は知らないという声を聞くので、そういうことはできないのか。	校區別説明会については、例えば、まず P T A の方に聞くことなど、検討させていただきたい。現時点で、もう少し細かくということもあるかと思うが、これまで他の学校からお声がけいただき、個別に対応している。例えば P T A 総会の時に話をさせていただいたこともあるので、いろいろな方法でなるべくたくさんの方に知ってもらえるように調整している。

■アンケートでの意見（要約）

- 統廃合も理解できるが、十分な合意形成を望む。
- 子どものことを第一に考えられていると感じた。
- 人数が少ないと大変なので、早めに統合してほしい。
- 答申で提示された考え方、内容に賛成する。
- 小規模校、極小規模校のデメリットは大きいのはよく分かった。何より子どものことを考えていただきたい。
- 原案に賛成の立場で推進に協力していきたい。
- グローバルな視点からの子どものことを考えての再編案は素晴らしいと思う。自治体が交通手段を確保して、適正な教育を与えようとしている案がよく伝わった。一人の子どもも取りこぼさない案は素晴らしいと思う。
- 適正規模・適正配置のあり方も今後はどんどん小学校によって差が出てくることになり、本当に大変だと思った。
- 中筋の実情などがよく分かった。小学校がなくなるのは悲しいが、その都度、関心を持っていきたい。
- 今後の社会状況を鑑みながら、柔軟に対応してほしい。
- 統合される前の地域の方の意見はどうか？統合した後の地域の方のアンケートを取って不安、不満はどうか？が知りたい。
- 統合した学校の児童アンケートを全て公表してほしい。
- 統合ありきで進めるのではなく、児童や当該校の先生の意見はどうか。
- 今日知り合いの保護者の参加がなく、もっと学校から子どもにプリントを持ち帰らせたりして知らせてほしい。
- パブリックコメントの期間が短いこと、また、周知が徹底されていないと感じるので、もう少し忙しい母親達の目をひくアナウンスがあるといい。
- 20年前と今、そして、これからの小中学校を比較すると、今後の統合は仕方ないと感じる一方、人口増加への手だてはないのかと思う。
- 少子化と人口減少が進む中で、30年、40年、50年後の将来予測は立てているのか。
- 子どもの出生数を地域別で増やす計画はあるのか。
- 今年、奈佐小と五荘が統合したが、「おはようございます！」と大きなあいさつをして慣れない五荘坂を登っていく奈佐っ子達にとっても感動した。大きな学校へ来ることに緊張している姿でしたが統合して嬉しい瞬間だった。
- 南中と北中に分かれることは全く問題ないと思う。
- 豊岡小が2つの中学校に分かれることは、つい最近知った。「昔2,000人以上生徒がいた名残」、「一つの中学校にするって言うてもう何十年もたつ」、「言っているだけでやる気がない」と皆さんから聞いた。昔のことを変えられないのだから、他の小学校を変えるのも大変だと思った。
- 高橋小学校の出身だが、20数年たってこんなに人数が減っていると思わなかった。